鶴岡市社会福祉協議会

おだがいさま

odagaisama

第81号
平成31年
4月1日発行

地域に根差し、地域に愛される社会福祉法人を目指して

鶴岡地区特養連絡協議会に加盟する九つの社会福祉法人で公益的な取組についての懇談会を開催しました。

社会福祉法人の公益的な取組について

去る2月22日、ＮＰＯ法人日本地域福祉研究所副理事長　法政大学現代福祉学部教授宮城孝氏（写真中央下）を講師としてお招きし、鶴岡地区特養連絡協議会に加盟する９つの社会福祉法人、市、市社協の幹部役職員が集まり「社会福祉法人連携による公益的な取組にかかる懇談会」を開催しました。

平成28年4月に施行された「社会福祉法等の一部を改正する法律」で全ての社会福祉法人は「地域における公益的な取組」の実施に関する責務規定が創設されました。

これまでの公益的取組にかかる経過について

市社協ではこれまで、平成29年度に地域課題や生活課題を共有し今後の取り組みや実施体制を考える研修会を開催しました。参加の方々からは「地域ニーズがつかめない」「各法人の実践事例を共有したい」等の悩みや要望も挙げられ、こうしたことを踏まえ平成30年度は、９法人の協力を頂き、「社会福祉法人で実践している公益的な取組の事例」「法人内の現状や課題」などについて聞き取りを実施、基礎資料をまとめ、今回の懇談会を迎えました。

生活課題への対応と今後の連携した取組を検討

懇談会では、各法人の公益的な取組内容の報告と相談機関からの生活課題の事例提供をしました。これを受けグループごとに分かれ「複数法人が一緒に取り組むことによる効果」などについて、グループワークを行いました。各グループからの報告では、デイサービスで利用していない時間帯での車の有効活用、貸館としての施設開放、就労に踏み出せない方への体験就労やワークシェアリングの考え方、さらには、多様な課題を抱えた人への理解を促す等、地域住民への幅広い福祉教育は、社協が行うと良いなど活発な意見交換が展開されました。

また、法人間での人材不足への対応や法人連携の考え方など共通する課題もあり情報交換の場となりました。

講師の宮城先生からは、公益的な取組の全国的な事例紹介、鶴岡市における取組への助言を頂き、会は盛会裏に終了しました。

今後も社会福祉法人が、地域住民の生活課題に向き合うために、協議の場を通して、公益的な取組をすすめていきます。

地域のみなさんと一緒に推進中！

鶴岡市地域福祉活動計画

おだがいさまのまちづくり計画2015

平成27年度に策定しました地域福祉活動計画は、誰もが安心して暮らせる「おだがいさまのまちづくり」を基本理念として、平成28年度から平成32年度の５年間を実施期間としております。

中間年となる実施３年目の平成30年度に、地域の方々や関係機関と協働し実施した取り組みについてご紹介します。

取組その1　地域支え合いプランの作成・進行管理

「地域支え合いプラン」は、福祉課題の整理・分析、その対応策として地域や住民としてできること、また、それと関連して市社協や行政と連携して課題解決にあたる方策などを整理するプランとして、各地域、地区ごとに策定する住民主体の活動計画で、各地域福祉推進基礎組織がプランの作成主体となります。

地域ごとのプラン策定により、地域住民の方々へ地域課題を周知する機会となり、また、何に取り組むかを明確にすることで協力体制を構築し、地域力向上とともにまちづくりの活性化を図ります。

鶴岡地域は、各学区・地区社協等の地域福祉推進基礎組織において２０２０年度までの策定を予定し、研修会を実施いたしました。藤島、羽黒、櫛引、朝日、温海地域では既に策定されており、「地域支え合いプラン」により住民主体の取り組みが展開され、計画の進行管理を行っております。

○各地域の地域支え合いプランに関する主な事業等実施状況

鶴岡地域

地域支え合いプラン策定に関する
研修会の開催
（学区・地区社協等役員研修）

藤島地域

「みんなの藤島いいどごプラン」
農福連携プロジェクト
（庄内農業高校・地域組織連携）

羽黒地域

「羽黒おもいやりプラン」
自由参加型サロン活動の促進
（ボランティアグループのサロン活動：はっぴー広場）

櫛引地域

「くしびき　ささえ愛プラン」
地域のささえあいのしくみ推進事業
（丸岡地区　ささえ愛検討会）

朝日地域

「朝日地域　地域支え合いプラン」
担い手養成・発掘で地域活性化
（除雪ボランティア活動）

温海地域

「温海地域支え合いプラン」
交流と生活実態把握の場の設置
（ぶらりカフェの開設）

？福祉クイズ

質問：鶴岡地域生活自立支援センターくらしステーションはなにをするところでしょうか？

取組その2 生活自立支援センターの相談支援機能の拡充と「暮らしのセーフティネット」を構築するプロジェクトの推進

「就労支援部会」の立ち上げ

鶴岡地域生活自立支援センターくらしステーション（くらしス）には、年間２２０件ほどのご相談があり、約４割が就労に関する内容となっています。

そうしたことから、市福祉課とくらしスで「就労支援部会」を平成３０年度に立ち上げ、相談機関となるハローワークや若者サポートステーション、通信制・定時制の高校、雇用側の企業、ほか農政課、商工課といった行政内組織の枠を超えた参加を頂きました。

公民一体となり、企業（人材難の解消）と福祉サイド（就労の場の確保）双方にとって利益になる取り組みや、若者の居場所づくりへと繋げていきたいと考えています。

取組その3 災害ボランティアセンター設置・運営に関する事業の充実と、企業、事業所、団体などとのネットワーク構築

災害が発生した時にボランティアの受入れや派遣調整などが迅速に行われることを目指して、平成２７年度に作成した「鶴岡市災害ボランティアセンター設置・運営マニュアル」を基に、市総合防災訓練において「ボランティア現地本部設置訓練」を毎年行っています。平成３０年８月に発生した「戸沢村水害」では、鶴岡市からもボランティアの方々の協力や鶴岡市社協職員が現地災害ボランティアセンターと連携を図り活動しました。

また、平時の取組として、企業、事業所、団体、行政等がいざという時に連携できるよう「災害ボランティアセンター連絡会」を設置し情報交換や研修等を行っています。平成２８年度は宮城県大崎市社協と、平成３０年度には鶴岡青年会議所と協定を締結して協力体制の強化を図ることができました。今後は、災害ボランティアセンターサポーター養成講座等を行い「人材養成」と「ネットワーク構築」をさらに促進していきます。

「ボランティア現地本部訓練」 H30年9月

共同募金運動へのご協力ありがとうございました

平成30年度共同募金【赤い羽根・歳末たすけあい】

鶴岡市内の募金総額

20,469,238円

＜募金の内訳＞

●戸別募金	16,876,202円
●街頭募金	302,952円
●学校募金	786,363円
●法人募金	1,033,500円
●職域募金	1,096,684円
●イベント募金	54,000円
●その他募金	319,537円

湯野浜地区社会福祉協議会「湯野浜まがしぃり事業」

第31回 赤い羽根チャリティーダンスパーティー

平成３０年度共同募金の使いみち

◆県共同募金会へ送金　16,735,238円

平成30年度に、福祉団体、NPO法人、福祉施設等が取り組む子育てや障がい者支援に、また、市社協が推進する支え合い活動やボランティア活動等の地域福祉活動に配分されます。

◆歳末たすけあい配分　3,734,000円

平成30年12月末に、新たな年をあたたかく迎えられるように、市内の経済的に支援を必要とする世帯（479世帯）、児童養護施設の入所児童・生徒へ配分をしております。

情報掲示板

平成31年度「ふれあい福祉相談」のご案内

●常設相談

失業や病気などにより、一時的に生活の維持が困難となった世帯に対する貸付相談や判断能力に不安がある方への日常的な金銭管理（福祉サービス利用援助事業）等の相談に、職員が応じています。

日時：月～金曜日（祝日を除く）午前8時30分～午後5時15分
場所：各福祉センター

●巡回弁護士相談（上半期4月～9月）　無料・要予約

4月17日(水)	10：00～15：00	鶴岡福祉センター
5月22日(水)	10：00～15：00	羽黒福祉センター
6月19日(水)	10：00～15：00	鶴岡福祉センター
7月10日(水)	10：00～15：00	朝日福祉センター
7月24日(水)	10：00～15：00	藤島福祉センター
8月21日(水)	10：00～15：00	鶴岡福祉センター
9月18日(水)	10：00～15：00	温海福祉センター

※相談は予約制となります。各日程の1ヶ月前から予約可能です。
※日時・会場変更の場合は別途広報「つるおか」でお知らせします。
※相談時間はお一人30分です。相談料金は無料です。

介護職員初任者研修（旧ヘルパー2級）受講生募集

○研修期間　6月3日（月）～8月9日（金）
○受講費用　30,000円（テキスト代込）、健康診断料別
○募集定員　20名　※定員になり次第締め切ります
○受付期間　5月7日（火）～5月24日（金）まで
9時～17時（土日除く）
※申込み後、5月24日（金）18時からの説明会に出席のこと
○申込み・問合せ　鶴岡市社会福祉協議会事業推進課
TEL24-0053

鶴岡福祉バス抽選会のお知らせ
（2019年7月～2020年3月分）

鶴岡福祉バス抽選会のための事前申請を次の日程で受付けます。

＊対象期間

期間ごと2回分に分けて抽選を行い、1団体1回の日程で受付けます。
①7月～10月
②11月～3月
※11月～3月の冬期間は土日祝日運休、運行区域は庄内地域になります。
※申請書の備考欄に希望月を記入してください。

＊利用対象　旧鶴岡市域に住所を有する個人または団体
＊申請期間　5月7日（火）～5月17日（金）
【今年度は受付期間が短くなります。】
＊抽 選 日　5月22日（水）
＊申込み・問合せ　鶴岡市社会福祉協議会総務課
TEL24-0053（申請書は同所にあります）

なりげんき塾開催募集

鶴岡市社会福祉協議会では、地域の皆さんの仲間づくり、地域づくりのお手伝いとして65歳以上の方を対象に体操や脳トレを行う「なりげんき塾」を開催しています。

身近な公民館などを会場に楽しく健康づくり、仲間づくりに取組んでみませんか？

開催を希望する町内会や地区の方は、下記までお問い合わせください。

お問合せ先：鶴岡市社会福祉協議会事業推進課
TEL24-0053

ご寄付ありがとうございました

みなさまのご厚志に心より御礼申し上げます。
（平成31年1月1日～平成31年3月8日までのご寄付を掲載しています）

★一般社会福祉事業へ

◎鶴岡福祉センターへ
・明治大学鶴岡駿台会 様　100,000円
・庄内なのはな会 様　90,313円
・鶴岡市中央公民館女性センター登録サークル連絡協議会 様　5,000円

◎羽黒福祉センターへ
・三山大愛教会 様　200,000円

◎温海福祉センターへ
・鈴木　國男 様　30,000円

★高齢者福祉センターおおやまへ
・匿名　20,000円

★温海デイサービスセンター愛寿園へ
・マルゴ会 様　70,000円

★訪問介護事業所へ
・五十嵐　喜代 様　加湿器1台

★くしびき南部保育園へ
・西荒屋老人クラブ 若松会 様　雑巾・タオル

★生活困窮者支援へ
・清和　伊勢喜 様　ランドセル1点
・五十嵐　正信 様　米2袋
・工藤　節子 様　米1袋

？福祉クイズ

こたえ　全部

病気や失業、借金などで暮らしの困りごとを抱えている方の相談に応じ、一人一人に寄り添いながら、包括的・継続的な支援を行い、自立へ繋げていく相談機関です。

おだがいさま
第81号
平成31年4月1日発行
発行部数　48,800部

編集・発行
社会福祉法人 鶴岡市社会福祉協議会
鶴岡市泉町5番30号（にこ❤ふる2階）
TEL 0235-24-0053　FAX 0235-23-9110
ホームページ http://www.shk01.jp/

鶴岡福祉センター　TEL 24-0053
藤島福祉センター　TEL 64-3100
羽黒福祉センター　TEL 62-4534
櫛引福祉センター　TEL 57-5300
朝日福祉センター　TEL 53-2795
温海福祉センター　TEL 43-2114

この広報紙は、赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています。